

飯田北小学校・いちよう小学校 小規模校対策検討委員会ニュース

発行日：平成24年10月9日

発行：検討委員会事務局

第3回検討委員会 開催

☆平成24年9月14日(金) 19時30分から
上飯田地区センター 工芸室

話し合われたこと・決まったこと

- 施設状況と、児童の通学距離や通学安全などを総合的に検討した結果、統合校の通学区域（飯田北小学校といちよう小学校の通学区域を合わせたもの）の中央に近い飯田北小学校の場所と施設を使うことになりました。
- 統合校の開校時期については、平成26年4月とすることが決まりました。
- 第4回の小規模校対策検討委員会では、統合校の名前について話し合うことになりました。そのため、学校名の案をアンケートで募集することになりました。

○第2回検討委員会後にいただいた主な意見（いただいたご意見は検討委員会に報告しています）

☆けんかやいじめにどう対処しているのか

→ 通常は子ども同士で解決するよう支援をしますが、時には厳しく指導することもあります。その際は保護者に連絡を行うとともに、保護者を交えた話し合いをする場合には、通訳を依頼しています。

☆統合によるデメリットなどを明確にしてほしい

→ デメリットとしては、「登下校の不安」「児童の心の問題・ストレス」「新しい人間関係の構築」「高学年ほど精神的負担が大きい」などがあります。これらについては両校の交流を行うとともに、学校・保護者・地域・教育委員会などが連絡を密にして対応を図っており、これにより今まで統合したすべての学校から統合して良かったという意見をいただいています。

また、「外国籍児童が増える」ことについては、他の統合校の取り組みを参考にするとともに、教育委員会や検討委員会では対応策について現在検討を行なっています。

1 統合時に使用する場所（場所及び施設）について

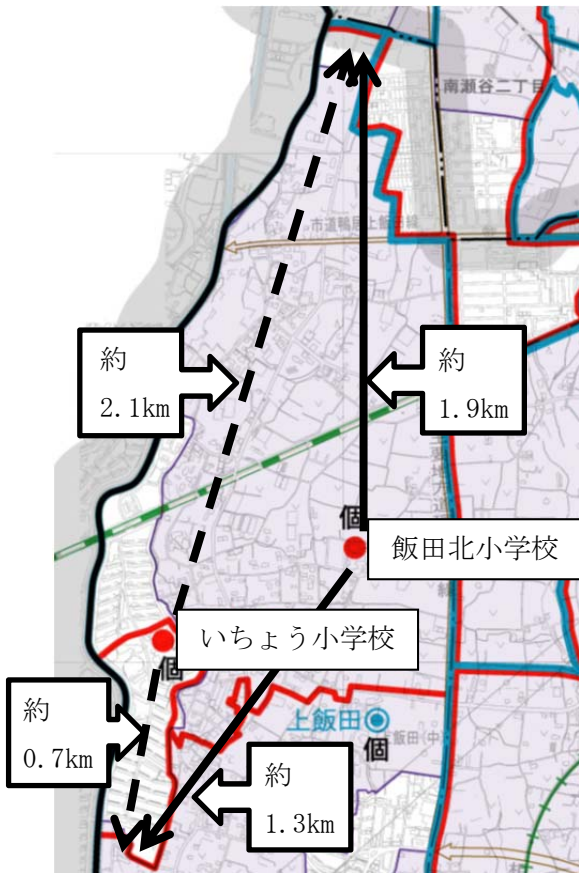
施設状況		飯田北小学校	いちよう小学校
敷地面積(m ²)【しきち】		10,949	14,189
校庭面積(m ²)【こうてい】		5,145	6,840
構造・階数		鉄筋コンクリート造・4F	
体育館(m ²)【たいいくかん】		566	769
H24年度一般学級数		6	6
" 個別支援学級数		2	2
保有教室	普通教室（※1）【きょうしつ】	16	24
	個別支援教室	2	3
	特別教室（※2）	7	6
新築年度		昭和54年	昭和47年
耐震補強工事		平成21年実施	



※1 普通教室のうちクラスルーム以外の教室は、各校とも学習室（多目的室）や児童会議室等に活用。

※2 特別教室は理科室、音楽室、家庭科室、図画工作室、図書室、視聴覚室等を示す。

いいだきたしょうがっこう しょうがっこう つうがくきょり
 ○飯田北小学校・いちよう小学校からの通学距離



事務局からの説明 統合時に使用する場所について
 統合した場合に使う場所については、施設の状況、また通学路や通学安全などを総合的に判断して、子どもたちにとってよりよい環境を選ぶ必要があります。

- 学校の面積は、いちよう小学校の方が広い
- 校舎は、飯田北小学校の方が新しい
- 統合した場合、飯田北小学校の方が通学区の中央に近い場所にある。いちよう小学校からだ、小学校の基準である2kmを少し越える地域がある。
- 通学安全について、現在の飯田北小学校はいちよう団地の北側から通学している児童もいて、団地までの通学路があるため、一定の安全が確保されている。

という状況を総合的に判断した場合、統合時に使用する場所は飯田北小学校が望ましいと考えています。

けんとういいんかい おも しつもん はつげん
 検討委員会での主な質問・発言 (★委員発言 ☆事務局発言 →応答・回答等)

- ★どちらの施設を使うかということについては、両校の関係者はそれぞれ自分の関係する学校の方がいいと考えます。ただ両方一緒に合わさった時は同じ学校の子どもたちなので、その子どもたちにとって一番条件が良いのは事務局の考えの案かなと思います。
- ★人数ではいちよう団地の子どもたちのほうが多いと思います。グラウンドも広いし、いちよう小学校の方がいいと思います。
- ★どちらの学校も色々な活動で使っていて、地域の活動の中心になっている。跡地の活用については、そのあたりをしっかりと考えていただきたい。ただ、子どもたちが6年間通うことを考えると、2km以上というのは大変だと思いますので、中心に近い飯田北小学校がいいと思います。
- ☆どちらかの学校を使うと決めたら、もう一つは閉校となります。両校とも地域活動の拠点として活用していただいていますので、皆さまからの意見を取りまとめて関係部署に伝えていきます。また、区役所の力添えを得ながら、地域の皆様と検討を進めていきたいと思ひます。
- ★距離だけしかわからないのですが、子どもの分布を考えた場合、どちらの負担が大きいのでしょうか。
- ★子どもの分布については、学校はずっと続くので、今だけの分布で考えるのはどうかと思います。
- ★子どもたちにとって明るく前向きに勉強できる環境を整えてもらうのが基本ですが、今いちよう小には信号を通らないで通学しているので、飯田北小に通うことになった場合は事故が心配です。
- ★親としては通学路がある程度確保されているところが安心だと思ひます。そういう意味では、現在飯田北小にはいちよう団地からもある程度通って来ているし、その子たちと同じ道を歩いてくれば歩道橋もあるので、客観的に見てもいいのではないかと思ひます。
- ★通学路、安全面など、そういったものを考慮した上での提案だと思ひますので、事務局の案に賛成します。

★いちよう小にはコミュニティハウスがあって、夜にボランティアで日本語学習の支援を行なっている。今、子どもたちが勉強についていけるのもそういう活動があるからだと思ひます。それがなくなったら、教育が遅れてしまうのではないかと思ひます。

→★コミュニティハウスの問題は検討委員会ではできないと考へている。いちよう小学校のコミュニティハウスは当然残すべきと考へているが、学校統合の問題とは切り離して考へないといけません。



統合後の設置場所については現在の飯田北小学校の施設を利用することを決定しました。

2 統合する時期について

平成26年度 統合の場合	平成27年度 統合の場合
<ul style="list-style-type: none"> 両校の交流期間が1年(※) 現5年生卒業後の統合(現1年生～4年生) 	<ul style="list-style-type: none"> 両校の交流期間が2年(※) 現4年生卒業後の統合(現1年生～3年生)

※交流では児童・PTAの交流を深め、統合に向け段階的に関係づくりを進めます。また教員同士も連携を取り、教育内容、児童指導に関する情報の共有を進めます。

事務局からの説明

平成17年度以降に統合を行った13地域すべてで、検討をはじめた2年後に統合校を開校していただきます。そのスケジュールだと、両校の児童や教職員の交流を1年行った上で、平成26年4月に統合校を開校することになります。

なるべく早く統合を行うことにより、統合による教育環境の向上を図りたいと考へています。



統合校の開校時期については、平成26年4月とすることになりました。

3 外国籍児童等への支援策(案)についての報告

現在、教育委員会で検討している支援策(案)	
教員の加配について	日本語指導が必要な児童数に応じ、市費での非常勤講師等の配置を検討する。
ボランティア団体への支援や連携について	今までの支援団体に対して、学校・教育委員会・学校教育事務所・区役所が連携協力しながら、引き続き支援を依頼していく。 語学補助ができる人材(通訳や翻訳等に対応できる)の活用について検討する。
予算(学校配当)について	統合を理由に配当減とならないよう、学校配当の積算方法を検討する。
施設について	国際教室など、必要な諸室について検討し、整備を行う。

学校統合による教育環境の更なる向上を図るため、平成25年度以降の事業実施を目指し、予算確保に向けて取り組んでまいります。

4 学校名の選定方法について

学校名の選定方法については、「公募方式」と「検討委員会方式」があります。

- | | |
|---------|------------------------------|
| 公募方式 | → 学校名を公募し、その結果を参考に検討委員会で選定する |
| 検討委員会方式 | → 検討委員会で学校名を議論し、選定する |



これまで行われた他の検討委員会でも、公募方式が多かったことから、アンケートにより学校名を公募します。その結果を参考に検討委員会内で学校名を選定することになりました。

5 第4回検討委員会での検討項目について

第4回検討委員会では、統合する学校の名称を検討することが了承されました。

両校の児童には学校でアンケートを実施します。また地域には、この検討委員会ニュースにアンケートを挟み込んで配布します。その結果を事務局で集計して次回の検討委員会で確認します。

アンケートの集計結果が一番多いものに自動的に決まるわけではなく、そこで集まった名前を参考にしながら、検討委員会で統合する学校の名称を選定します。



【次回：第4回検討委員会の日程】

- ★平成24年10月30日（火） 19時30分から
(検討予定内容) 1. 統合する学校の名称について
2. その他



「飯田北小学校・いちよう小学校」小規模校対策検討委員会の経過、横浜市の基本方針等はインターネットでも見ることができます。

- 「飯田北小学校・いちよう小学校」小規模校対策検討委員会：
<http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/gakku/shoukibo/>
- 基本方針等：
<http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/kyoiku-info/gakku-houshin.html>

「飯田北小学校・いちよう小学校」小規模校対策検討委員会では、皆さまからのご意見を受け付けております。FAXかEメールで、事務局（学校計画課）までご連絡ください。

- 「飯田北小学校・いちよう小学校」
小規模校対策検討委員会事務局
(学校計画課)

電話 045-671-3252
FAX 045-651-1417
Eメール ky-izumi@city.yokohama.jp

